

答

厳しい財政状況が予想される中、持続可能な市民サービスのため、更なる業務の効率化、組織の適正化が必要であると判断し、市議会における代表質問や政策提言会の提言も踏まえ、体制を見直すこととした。

今後、内容を調整する中で、市民の意見に耳を傾けながら、周知を図り、丁寧に説明していきたい。

更に、地域自らが課題を解決する地域自治組織の設立により活力ある地域を構築し、市民と共創していきたい。

佐伯利彦議員



(議案質疑)

1 新規就農者確保事業について

(一般質問)

1 日本一の愛宕柿産地を守る取組について

守ろう！

生産量日本一の愛宕柿

問

本市は日本一の愛宕柿の産地であるが、近年、販売不振や生産者の高齢化などで生産量が減少し、生産者の生産意欲も衰えてきている。なんとか愛宕柿の生産を続けようとがんばっている生産者や若者をターゲットにした商品開発に対する支援について、市はどう考えているのか。

答

生産者への側面支援として、柿に多く含まれる高血圧の予防効果が高いとされるカリウムなど機能性成分の啓発、干し柿体験などの食育の推進、ふるさと納税返礼品及び地元飲食店などでの活用の促進により、消費拡大に努めたい。

また、商品開発の支援として、平成28年度から、商品開発を専門とする講師からマンツーマンの指導を受けることができる「地域の逸品開発塾」を実施していることから、今年度の開催についても詳細が決まり次第、広報紙などで周知する予定である。

公明党

西条市議団

城戸力議員



(議案質疑)

1 校内サポートルーム設置事業について

(一般質問)

1 マスクの着用が困難なかたへの支援について

2 ICT教育における教職員の負担軽減について

教職員のテレワークに

生体認証の活用を！

問

コロナ禍で教職員のテレワークシステムの利用が増加したと聞くが、どのような評価を得ているのか。また、ログイン方法について、利便性の向上とセキュリティの確保を併せ持つ生体認証を活用する考えはないか。

答

テレワークの申請者数は増加傾向にあるが、利用者数については、昨年と同じ状況となっている。時間と場所を選ばずに仕事ができることや自宅で仕事ができることなど、新たな働き方の方形として好評を得ている。

生体認証については、パスワードの入力などの手間を省くことで利便性の向上につながり、セキュリティ面でも有用であることから、セキュリティと利便性、コストのバランスを考慮し、最も望ましい形で導入できるよう検討したい。

高橋淑子議員



(一般質問)

1 コロナ禍における「生理の貧困」について

2 小・中学校における標準服の自由化について

「生理の貧困」

恒久的な支援を！

問

「生理の貧困」は、コロナ禍で困った人が増えたことにより顕在化した。以前から負担感を抱える人は多く、課題も多い。「生理の貧困」について、市はどう認識しているのか。

答

「生理の貧困」は表面化しにくい問題であるが、女性の尊厳に深く関わり、仕事や学業に影響するものと捉えている。「生理の貧困」は、男女共同参画社会基本法にうたわれている男女共同参画社会の実現という観点から、令和3年度の施政方針である、他者を思いやり尊重する利他の心をもって、性差を超えて共有すべきテーマであると認識している。

また、県から寄附を受けた生理用品が、県内市町に配分されることから、今後、市内小・中学校や市庁舎などで無償配布を考えており、今後、この取組が継続的な相談・支援のきっかけとなるよう努めていきたい。